

# 第1回全日本・語りの祭り



富本岱助/作画

## 埼玉県秩父市

1992年10月11日(日)・12日(月)  
<10日(土)は前夜祭>

ナチュラルファームシティ  
(農園ホテル)  
参加者数404名

### よびかけの言葉

日常生活の合理化が進むにつれ、家庭・地域文庫・図書館・学校などで「語り」が見直されつつあります。心を和ませる「語り」にひかれ、「もっとききたい」「私もかたりたい」という声も年毎にふえてきました。各地では、ことばの力を回復したいと願って、さまざまな分野の団体、サークルが活発な活動を行っています。そこで、紅葉の秩父地に集い、楽しい語りの祭りを開き、「語りの輪」をさらに広げたいと思います。語りたい人、聞きたい人、全国の語り仲間と交流したい人、どなたでも気軽にご参加下さい。明日の豊かな語り文化を創るために。

「語る喜びと聞く楽しみを分かち合おう！」を合言葉に、初めて「全日本・語りの祭り」が開催されました。全国各地から、語りを愛する大勢の人たちが秩父の地に集い、語りの輪が広がった記念すべき第1回となりました。

## 第1日目

### 【伝承の語り】

馬場マスノ (新潟県在住)  
中鉢カヨ (東京都在住・岩手県出身)



寺内重夫/字

### 【シンポジウム】

「現代の語り手の可能性」



パネリストのみなさん

家庭での語り、地域での語り、図書館での語り、口演童話の語り…と、語りの場や語り方はさまざまな中で、長年、語りに携わってこられた5人のパネリストと共に、現代から未来へとつなぐ語りの文化について考えました。

ーパネリストー

勅使逸雄(全日本童話人協会)  
松岡享子 (東京子ども図書館)  
川端英子 (親子読書地域文庫全国連絡会)  
桜井美紀 (語り手たちの会)  
小河内芳子 (児童図書館研究会)

<司会>

佐藤凉子 (児童図書館研究会)

## 【記念講演】

一人芝居「土佐源氏」

俳優 坂本長利



乞食小屋に住む盲目の老人が、とつとつと自分の人生を語る一人芝居。

貧しい民衆伝承から生まれた庶民の文学。

「土佐源氏」：宮本常一の代表作

「忘れられた日本人」(岩波書店)より

## 【語りの部屋】

- ・ 伝承の語り
- ・ プロの語り
- ・ 口演童話の語り
- ・ だれでも語り手 A
- ・ だれでも語り手 B
- ・ だれでも語り手 C



<だれでも語り手>

全国各地から集まった参加者が、語る喜びと聞く楽しみを味わうひととき。

## 【夜語りの会】

## 第2日目

### 【語りの広場】

- ・ 昔話の語り
- ・ 創作の語り
- ・ 私を語る
- ・ わらべうたと語り
- ・ 手あそびと語り
- ・ 見せて語る



<わらべうたと語り>

子どもにもどって一緒に楽しむ。



寺内重夫/字